

エコニクスにおける CoolBiz の取り組み

エコニクスは、今年から環境省が展開している地球温暖化防止「国民運動」の「チーム・マイナス6%」に賛同し、弊社の環境方針へ反映させました。

その具体的な活動項目として7月から9月までの3ヶ月間を「クールビズ」期間と定め、室温管理を通じたCO₂排出量削減の活動に取り組みました。



室温 28℃のためのAction

2006年7~9月

社内においてクールビズ期間を宣言し、以下のアクションを実施しました。

- ・各フロアにてモニタリングポイントを設定し、ポイントでの室温が28℃を大幅に前後しない様コントロール
- ・エアコンパネル、受付、執務室にて掲示物による啓蒙
- ・サインカードの装着
- ・服装の軽装化を奨励（ノーネクタイ等）
- ・積極的な建物内への風の取り込み
- ・団扇、扇子の活用 等



CO₂削減量は前年対比で

25%OFF

※空調設備使用におけるCO₂削減量

クールビズの取り組みにより、期間中のCO₂排出量は昨年同期間と比べて25%(205KgC)の削減となりました。

これは樹木約228本分のCO₂吸収量に相当します。

(樹齢100年程度の樹木1本あたりのCO₂吸収量0.3KgC/月で算出)

※参考文献:北海道森林管理局 法人の森林による環境貢献度 平成16年報告



効果 樹木約228本分



推進事務局より

「今年は久しぶりに暑い夏だった！」そう感じた方も多いのではないのでしょうか？

新聞報道によりますと、札幌の夏の風物詩「大通りビアガーデン」も、最終日は定員を大幅に上回る人出だったようです。又、家電量販店では、扇風機が飛ぶように売れ店頭では品薄状態。夏物衣料の売れ行きも好調等、この夏の特徴とも言える記事を見かけた方も多いのではないのでしょうか？

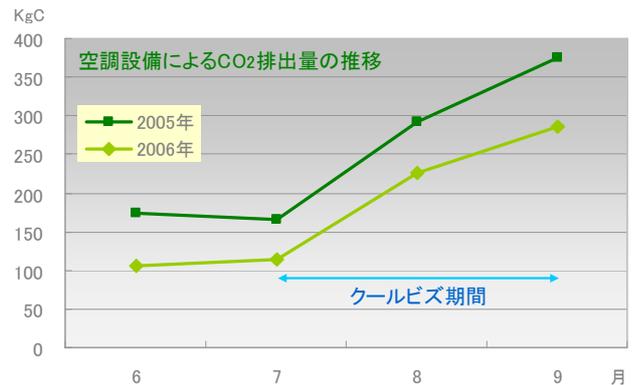
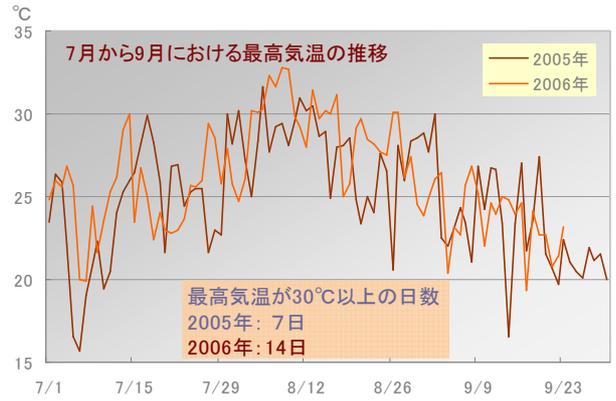
そのような「暑い夏」でのクールビズ。推進事務局としては「どれ位の効果が出るのか？」「昨年よりも使用量が増加するのではないのか？」等、少々不安をかかえながらの推進となりました。

暑さも一段落した初秋の現在、本レポートを作成するにあたり該当期間の電力使用量（空調設備）の集計および、CO2排出量の算出を行った結果、全社における理解・協力のもと、CO2排出量を前年対比25%削減（樹木228本相当）することができました。

大きな変化も小さな事から。環境負荷は、一人ひとりの意識の積み重ねによって軽減されていきます。

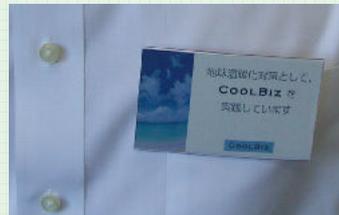
私たちはチームマイナス6%の一員として、今後もウォームビズ等の活動を予定しております。

グラフ上段：札幌管区気象台気象データによる最高気温の推移
 グラフ下段：札幌市CO2排出係数より算出した、CO2排出量の推移



取り組みの様子

この夏活躍した団扇・扇子、サインカードの装着、軽装



(左から) 全館のエアコンパネルへ掲示したサイン、受付に掲示したポスター、打合せスペースに設置した卓上型サイン



発行元 株式会社エコニクス 経営管理部
<http://www.econixe.co.jp>
 札幌市厚別区下野幌テクノパーク1丁目2-14
 tel:011-807-6811 fax:011-807-6800
 私たちは「環境ナビゲーション企業」を目指します。

